

採点基準 数学（文系）

【共通事項】

1. 約分の未了，根号内の整理不備は 1 点減点
2. 分母の有理化の不備については減点なし
3. 別解の配点は解答の配点に準ずる

【文系】（100 点満点）

第 1 問（30 点満点）

(1) (配点 9 点)

- 長さの条件を $|\overrightarrow{OA}| = |\overrightarrow{BC}| = a$ などのようにベクトルでの表現に直して 3 点
- $c^2 = |\overrightarrow{AB}|^2 = |\overrightarrow{OB} - \overrightarrow{OA}|^2$ のように始点を O に変更して 3 点
- 答えに 3 点

(2) (配点 21 点)

- $\overrightarrow{OB} \cdot \overrightarrow{OC}$, $\overrightarrow{OC} \cdot \overrightarrow{OA}$ を a, b, c で表して 3 点
- OH が平面 ABC に垂直である条件を立式して 3 点
- \overrightarrow{OH} を \overrightarrow{OA} , \overrightarrow{OB} , \overrightarrow{OC} で表して 3 点
- \overrightarrow{OA} , \overrightarrow{OB} , \overrightarrow{OC} の等式 $\frac{1}{4}(2\overrightarrow{OA} + \overrightarrow{OB} + \overrightarrow{OC}) \cdot (\overrightarrow{OB} - \overrightarrow{OA}) = 0$ を求めて 3 点
- 上記から a, b, c の関係式を求めて 3 点
- \overrightarrow{OA} , \overrightarrow{OB} , \overrightarrow{OC} の等式 $\frac{1}{4}(2\overrightarrow{OA} + \overrightarrow{OB} + \overrightarrow{OC}) \cdot (\overrightarrow{OC} - \overrightarrow{OA}) = 0$ から a, b, c の関係式を求めて 3 点
- 答えに 3 点

第 2 問（35 点満点）

(1) (配点 12 点)

- C_1, C_2 が接する条件を 2 次方程式が重解をもつ条件に言い換え，(判別式) = 0 を a, b で表して 3 点 ($a + 1 \neq 0$ がない場合は 2 点)
- 上記の 2 次方程式の重解 t を a, b で表して 3 点
- 途中の計算と答えに 6 点

(2) (配点 23 点)

- C_1 と x 軸の交点の x 座標を a, b で表して 3 点
- S を a, b で表して 7 点

- $\frac{b^3}{a}$ または S を t で表して 4 点
- 上記の t の関数の増減を調べて 6 点
- 答えに 3 点

第 3 問 (35 点満点)

(1) (配点 15 点)

- 20 枚のカードをすべて区別し, この中から 3 枚取り出す組合せの総数を求めて 3 点
- α, β, p_1, p_2 を求める説明と答えに 12 点(各 3 点)

(2) (配点 12 点)

- $n \geq 3$ のときの (m, M) を求めて 4 点
- $M - m = n$ となる 1 つの n に対する 3 数の組を考えられて 4 点
- p_n を n の式で表して 4 点

(3) (配点 8 点)

- $p_{n+1} - p_n \left(\frac{p_{n+1}}{p_n} \text{ でもよい} \right)$ を考えて 4 点
- 答えに 4 点